

工 学 部

Q & A

8月7日,10日に実施したオープンキャンパスと入試相談会
での質疑内容から作成しています。

令和3年8月11日作成



国立大学法人 奈良女子大学
Nara Women's University

全体について

質問. 工学部は設置構想中ということになっていますが、確定するのはいつでしょうか？

答え. 正式な発表は8月末頃の予定になりますが、昨年3月に設置申請し、大学設置・学校法人審議会の審議を経て、12月に文部科学大臣に設置認可の答申が出ています。学生募集（募集要項配布）については、8月末以降の予定となります。

質問. 工学部の校舎についてはどのように計画していますか？

答え. 現在の総合研究棟(H棟 400 m² × 5階)を工学部棟として改修し、既存学部の一部と合わせて校舎として使用予定です。

質問. 夏のオープンキャンパスに参加できなかったのですが、秋に実施する予定はありますか？

答え. 新型コロナの感染状況にもよりますが、秋にも今回と同様のやり方で実施する予定です。
改装中の校舎などの見学はできませんが、研究室などでの実験設備の見学や教員との教育・研究への相談は可能です。

質問. 女子大学ならではの特徴はなんでしょうか？

答え. 女子学生が主役であること。ジェンダーバイアスを意識しない環境でじっくりと学習に取り組むことができます。工学部WEBサイトの特別座談会企画「女性が創る新しい工学」の内容が参考になると思いますので、是非、お読みください。

質問. 進路、就職について教えてください。

答え. 大学院進学者が他の女子大学(医科大学など除く)より多いのが特徴です。以下は、同じ国立女子大学であるお茶の水女子大学と比較したデータです。

大学院進学者数

	2020(R2)年	2019(R1)年	2018(H30)年
奈良女子大学 (入学定員 475 名)	179名	163名	171名
お茶の水女子大学 (入学定員 452 名)	158名	150名	180名

大学院進学率

	2020(R2)年	2019(R1)年	2018(H30)年
奈良女子大学 (入学定員 475 名)	35.3%	30.8%	33.5%
お茶の水女子大学 (入学定員 452 名)	32.6%	31.3%	34.3%

(学校基本調査より 全て各年度の5月1日時点)

就職では、女子大学の中では有名企業400社実就職率で関西トップ(全国5位、東京以外で1位)となっています。東洋経済オンライン(2020年10月データ) <https://toyokeizai.net/articles/-/383840?page=5>
現在は、女性エンジニアが多種多様な企業で求められています。工学部設置のための企業へのニーズ調査(2019年11月実施)のアンケートでは、172企業中161企業(94%)が奈良女子大学の工学部で学んだ卒業生を採用したい(334名枠)という回答がありました。

研究について

質問. 教員の研究についての専門分野は？

答え. 工学部 WEB サイトの教員紹介を参照してください。

夢ナビサイト→ <https://yumenavi.info/portal.aspx?CLGAKOCD=034600&p=kougaku>



質問. ものづくりや計測機器メーカーは関西が強いイメージがあるのですがいかがでしょうか？

答え. 大阪や京都などは伝統的にものづくり企業が多い地域です。工学部では、今後、多くの企業と連携していく予定です。

質問. 奈良女子大学には、どれくらいの数の研究室があってどういった研究をしていますか？

答え. 大学 WEB サイトの研究者総覧をご覧ください。研究者の人数は約 190 名でそのうちの約 70 名が女性教員です。

※2020 年度データ()内が女性の数 教授 94(26) 准教授 64(25) 講師 4(2)助教 24(16)

質問. 個人の PC などは必要でしょうか？

答え. ノート PC など個人所有物は各自で用意が必要です。必要な性能については、別途お知らせする予定です。

教育について

質問. 2つの分野や4つのエリアに分かれていますが、分野、エリアの意味を教えてください。

答え. 分野については教員が指導する専門性を示し、エリアについては科目の集まりを示しています。どちらかを選んだり、どちらも選ぶというのではなく、本人の指向に合わせて主体的に科目を選択することができる「自由な履修制度」が教育課程の特徴です。

質問. 研究室に配属される時期はいつでしょうか？

答え. 研究室への配属は、3 年生前期にプレゼミナールがあり、そこで研究室を体験後、後期から研究室に配属される予定です。

質問. 環境デザイン分野の授業は 1 年生からあるのでしょうか？

答え. 1 年生が履修する基幹必修科目に造形デザインの科目があり、それが環境デザインを学ぶ上で必要になります。

質問. プログラミングの知識がないのですが、初めから研究に必要なことを身につけられる環境はありますか？

答え. 基幹必修科目の「プログラミング基礎」、「プログラミング実践」でプログラミングの基礎を身につけた後に、研究に必要なことは専門科目や研究室での卒業研究を通じて学びます。

質問. 物理や数Ⅲ未履修の人も履修済みの人と一緒に授業を受ける予定ですか、その際の授業は未履修の人か履修済みの人どちらに合わせる予定ですか？

答え. 一緒に授業を受けますが、どちらかに合わせるということは決まっていません。高等学校段階で未履修の場合は、オンデマンドなどをを利用して学習の準備をしていただくことを考えています。

質問. 上記の質問と少し被りますが未履修の学生がいることによって、本来他大学の学部の一年生がする勉強と比べ遅れが生じたりすることはありますか？

答え. 大学では興味に応じて、より進んだ内容を自分で学ぶことができます。本学部の特徴の「自由な履修制度」では、得意な分野、興味のある専門分野を早めに学習することが可能です。

質問. お茶の水女子大学を目指して大学院で生活工学を学ぶのと、奈良女子大学の工学部を経て大学院で生活工学を学ぶのとでは、どのような違いが考えられますか？

答え. 本学の工学部で工学的内容を総合的に学習してから大学院で生活工学共同専攻に進むことで、より専門的な工学の知識を身につけてから生活工学分野の研究を進めることができます。

質問. 高等学校での必履修科目はありますか？

答え. 高等学校での必履修科目はありませんが、入学後の学びのためにも理数系の基礎力を身につけておくことが望ましいです。

質問. 国際交流（留学制度）について教えてください。

答え. 現在は、工学部として特別なプログラムは用意していません。しかし、研究室で海外の大学と連携をされている研究室はあります。本学では国際交流を奨励していますので、各種のプログラムがありますので、詳しくは大学案内をご覧ください。近年はコロナ禍の影響があり難しくなっていますが、昨年度はオンライン留学を実施しています。

質問. 伝統工芸の技法などについては学ぶことができますか？

答え. 建築分野では、都市・建築史や保存再生の研究を専門とする研究室があり、伝統的な建築の調査などを行っています。その他では、文化財を研究する奈良国立博物館や奈良文化財研究所などの研究機関とも連携する予定ですので、今後、古都奈良にある立地を生かした研究について様々な展開を期待しています。

入試について

質問 合格点の基準や最低合格ラインはどのくらいを想定していますか？

答え 公表していません。

質問 一般選抜の受験科目が理学部と工学部で少し違うようですが、同じ科目も違う問題が出題されますか？

答え 理科は全学で共通の問題を利用しますが、数学については、前期日程は生活環境学部と同じ出題範囲のものを、後期日程では理学部と同じ出題範囲のものが出題されます。過去問などはそちらを参考にしてください。

質問 探究力入試「Q」の第二次選考の内容がイメージしづらいのですが？

答え 工学部 WEB サイトに入試ガイド 8 月版があり、サンプル問題や参考動画がありますのでそちらを参考してください。

質問 探究力入試「Q」の昨年の他学部のデータでは、第一次選考で 1/3 程度に第二次選考でさらに 1/3 程度に絞られていますが、同傾向と考えてよろしいでしょうか？

答え 他学部・学科でもばらつきがあります。初年度であることもあり、傾向をお伝えすることはできません。

質問 探究力入試「Q」の Q² 型のデータ、資料の読み取りは PC 操作も含まれますか？

答え 含まれることもあります。ただし、そのような操作などについては、事前にレクチャーが行われます。

質問 探究力入試「Q」の Q³ 型では、なぜ研究計画書を作成させるのでしょうか？

答え Q³型の求める学生像にあるように、創意、発見する知の探究マインドを持ち、主体的に学び、考え、実行し、反省することができる人を求めています。計画書とありますように、これまでの探究活動の経験からこれからの探究活動のプランニングができるかなどを評価します。

質問 Q³型の研究計画書の【これまでの研究（探究活動）】については、【これからの研究（探究活動）】と関係のない研究（探究活動）を記入してよいのでしょうか？

答え 【これまでの研究（探究活動）】については、【これからの研究（探究活動）】と連続性のない、過去に高等学校などでおこなった活動を記入しても構いません。

質問 Q³型の第二次選考のプレゼンテーション後の質疑応答は、プレゼンテーションの内容のみについてでしょうか？

答え 第一次選考に提出した研究計画書については、質疑応答の内容に含まれます。

建築関係の学びについて（生活環境学部住環境学科や他大学建築系学部との違いについて）

質問 環境デザイン分野人間環境エリアの学びについて教えてください。

答え 本学の工学部が目指すのは領域横断的な知識と経験の獲得です。我々を取り巻く環境は、大きく変わりつつあります。コンピュータやインターネットの登場によって、これまでの都市や建築の物理的な環境に大きな変化が起きつつあります。工学部の人間環境エリアでの学びは、これまでの専門性を超えて都市や建築、人間と空間、そして情報とを同時に考えることの出来る人材を目指す人に向いています。幅広い視野で人間環境と建築について考え、企画できる能力の育成を目指します。

質問 生活環境学部住環境学科との具体的な学びの違いについて教えてください。

答え 本学の工学部では、製図や模型制作などは多くなく、情報や生体、物質など環境を広くとらえた学びができます。住環境の設計について専門的に学び、設計士を目指す人は住環境学科がおすすめです。多様な学びを経て、居住環境の改善に自分なりの貢献をしたい人は、工学部の環境デザイン分野がおすすめです。

質問 資格、就職先について教えてください。

答え 就職先は、建設系企業、環境系製造業、コンサル、不動産開発、公務員などが多くなると考えています。

質問 卒業後受験できる資格の違いについて教えてください。

答え 工学部：二級建築士（二級建築士に合格すれば一級建築士の受験資格が得られます）
住環境学科及び一般の工学部建築学科など：一級建築士

質問 インテリア関係の仕事を目指したいですが、学べる内容を具体的に教えてください。

答え 人間工学、感性工学など人間との関係で環境や空間を考える授業があります。